

令和7年
2025年

10月15日
水曜日

第11813号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



カナダポークが大阪・梅田でクッキングイベントを開催……P6

CONTENTS

- ▶ ちくさんフードフェア2025、多数来場し福島牛焼き肉など楽しむ……P2
- ▶ 売上高4・6増で増収増益—エスフーズの26年2月期第2四半期決算……P3
- ▶ 讃岐三畜銘柄化推進協議会が「香川県畜産フェア」開催……P3
- ▶ 大阪市場の全日本牛枝肉コンクール、和牛の名誉賞は岩国ファームの出品牛が受賞、殖生ミートパッカーが購買……P4
- ▶ 名古屋食肉市場買参事業協同組合が第2回みかわ牛の銘柄活性化懇親会を開催……P5
- ▶ カナダと米国で鳥フル、家禽肉など輸入一時停止……P5
- ▶ カナダポークが大阪・梅田で消費者招きクッキングイベントを開催—インフルエンサー・料理研究家のちはるさんを講師に……P6
- ▶ 中間期では過去最高の営業収益—平和堂の2026年2月期中間決算……P6
- ▶ 関東冷蔵倉庫協議会が第15回秋季懇談会開催……P7
- ▶ 兵庫県で全肉連しまね和牛販売会を開催……P7
- ▶ 全肉連・近畿ブロック協議会が滋賀県で開催活動報告の他、和牛セミナーも聴講……P8
- ▶ すき家「チーズインハンバーグカレー」新発売……P8
- ▶ [資料]2025年8月分の食肉輸入通関実績①……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]14日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]14日……P11

注目のヘッドライン

ちくさんフードフェア 2025、多数来場し 福島牛焼き肉など楽しむ

「ちくさんフードフェア2025」と「ジャパンミートピア2025inかながわ」が11～12日の2日間、神奈川県川崎市の日本食肉流通センターをメイン会場として開催された。

…詳細はP2

売上高 4・6%増で増収増益—エスフーズ 26年2月期第2四半期決算

…詳細はP3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける

スターゼン

<https://www.starzen.co.jp/>

とてつぱん

S Foods

<https://www.sfoods.co.jp/>

ちくさんフードフェア 2025、多数来場し福島牛焼き肉など楽しむ

「ちくさんフードフェア2025」と「ジャパンミートピア2025inかながわ」が11～12日の2日間、神奈川県川崎市東扇島の日本食肉流通センターをメイン会場として開催された。同フェアは新型コロナやセンターの工事などにより中止していたが昨年から再開。初日はあいにくの雨模様となったが、会場には家族連れなど多くの来場者が訪れた。懸念されていた交通渋滞については、入場ルートを設定し、警備員を46人増員するとともに、マリエン内に警備本部を設置。同時開催の川崎みなと祭りと連携し指揮を徹底するなど、体制を強化した。

初日には同センターG棟で開会式が開かれ、主催者を代表してセンターの川合靖洋理事長(左下写真)があいさつ。「和牛去勢A5率は2000年代初頭には13%ぐらいだったが、改良が進み、去年は7割近くとなった。しかし、A5の肉は思うほど売れず、子牛価格は50万円前後と心配される状況だったが、昨年、農水省の令和6年度補正予算で170億円もの牛肉需要拡大予算が措置された。それが効果を発揮し、枝肉価格は去年より上がり、子牛価格も70万円近くにまで上がってきた。大変良い状況になりつつあるが、畜産関係者が心配していたのがトランプ関税。現在の関税にどんと上乘せされるとの話があったが、農水省の懸命な交渉により引き続き26・4%のままとなった。関係各位の努力に感謝申し上げる。米国という重要な販路も維持され、あとは国内の需要拡大。今回はいまだ風評に苦しむ福島牛を取り上げ、その肉100kgを提供する。また、ミートピアin神奈川では全肉連が200kgの各地の和牛を、神奈川県肉連では80kgの県産の銘柄牛・豚肉を提供し、合計380kgの肉を2日間で試食提供する。加えて、出展者が格安で良い肉を販売している。今回のイベントが食肉のさらなる需要拡大に貢献することを願う」と述べた。

続いて、日本食肉流通センター卸売事業協同組合・同川崎冷蔵事業協同組合の三留晃理事長が「今回は36社・団体が出展、福島牛をはじめりすぐった各銘柄が販売されている。諸物価が値上がりし、お米も高い中、和牛需要は低迷している。消費拡大にご協力いただきたい」と乾杯の音頭を取り、懇親に入った。

来賓を代表し農水省畜産局長の長井俊彦局長(右



下写真)が「畜産関係者は団結力が強い。食肉を取り巻く状況は理事長が話した通りであり、大事なものは売れること。需要拡大予算はあるが、今後も補正を含め、結集している皆さんの力をいただき頑張りたい」と祝辞。来賓紹介に続き、イベントの目玉である焼き肉の産地、福島県農林水産部の沖野浩之部長が、「会場では福島牛の焼き肉に長い行列ができてのを見た。大変うれしい。東日本大震災から14年と7カ月が経過。復興が進む中、残念ながら風評が残っている。厳しい中でも生産者は愛情と情熱“ふくしまプライド”により高品質な牛肉の生産に努力を重ねている」と謝辞を述べるとともに、昨年12月に開発された、酒どころ福島の酒かすを給餌し育てた新しい銘柄牛「福柏花」(ふくはつか)を紹介した。その後、中締めを川崎市食肉商業協同組合の上野好一理事長が行い、散会となった。

会場では、センター内出店者など食肉業者が和牛のステーキや鉄板焼き、ハム・ソーセージ、串焼きなどを販売し、来場者は思い通りの肉料理を買い求め、会場内のテントで舌鼓を打った。また、「福島牛焼き肉コーナー」では福島牛のおいしさ、食べる楽しさを再認識してもらうことを目的に福島牛のカタロース、バラ・モモなどの焼き肉が約2千人に無料提供された。その他、出展団体により和牛の嗜好性調査や理解醸成アンケート、国産食肉のパネル展示が行われた。

売上高4・6%増で増収増益に一エスフーズの26年2月期第2四半期決算

エスフーズは14日、2026年2月期第2四半期決算を発表した。それによると、売上高は2290億4800万円(前年同期比4・6%増)、営業利益35億9800万円(36・1%増)、経常利益40億4200万円(16・4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益41億5千万円(241・5%増)と増収増益を果たした。なお、親会社株主に帰属する中間純利益の大幅な増加は、固定資産売却益および投資有価証券売却益の増加によるもの。セグメントごとの業績は次の通り。

食肉等の製造・卸売事業においては、海外事業への先行投資と国内事業の営業力強化、事業運営の効率化に努めた。海外では、米国のオーロラビーフ新工場建設を進めており、国内では、グループ企業と連携を図り営業力の強化に努めるだけでなく、老朽化施設の整理や生産拠点の集約を行った。この結果、売上高は2116億400万円(4・3%増)、セグメント利益は33億8600万円(51・3%増)となった。

食肉等の小売事業においては、不採算店舗閉鎖を実施するとともに、新規デベロッパーとの取り組みを含めた出店や改装店の立ち上げを進めた。また新商品の開発も図り、魅力ある商品や売り場の構築などを実施した。この部門の売上高は121億4400万円(4・1%増)、セグメント利益は5億800万円(21・8%減)となった。食肉等の外食事業においては、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、原材料費やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も同事業を取り巻く環境は厳しい状態が続くものと想定している。今後もお客に安全に安心して利用してもらえるよう、日々の店舗運営維持に努める。この結果、売上高は48億9100万円(23・0%増)、セグメント利益は2億3900万円(12・5%減)となった。その他売上高は4億700万円(4・4%増)、セグメント利益は8100万円(38・4%増)となった。

讃岐三畜銘柄化推進協議会が「香川県畜産フェア」開催

讃岐三畜銘柄化推進協議会主催による「香川県畜産フェア」が13日、高松市の丸亀町グリーン(1階けやき広場、4階ジャングルビアガーデン前)で開催された。同フェアでは香川県の高品質ブランド和牛であるオリーブ牛をはじめとするオリーブ豚、オリーブ地鶏というオリーブ畜産物の試食・販売が行われるなど、畜産物にまつわるさまざまな催しが行われ、11時の開場とともに多くの来場者が詰めかけた。

畜産フェアでは一般社団法人讃岐牛・オリーブ牛振興会がオリーブ牛の精肉を販売し、オリーブ豚振興会がオリーブ豚の精肉、加工品の販売、オリーブ地鶏振興会がオリーブ地鶏の精肉、鶏肉加工品の販売をそれぞれ行い、各ブースは多くの人でにぎわいをみせた。

4階のジャングルビアガーデン前ではオリーブ3畜の試食、牛乳の無料配布、スペシャルじゃんけん大会などが開催され、多くの人々が列を作ったオリーブ3畜の試食では香川県産の高品質の肉を味わった。その他にも公益社団法人香川県畜産協会が牛乳のPR、香川県養蜂組合が県産蜂蜜の販売、香川県養鶏協



会が県産卵と卵を使用した加工品の販売を行った。

さらには牛の乳搾り体験や景品が当たる抽選会なども実施。また会場にはキッチンカーも多数出店し、連休の最終日、精肉、加工品を購入する人、キッチンカーで食事を堪能する人、イベントを楽しむ人で混雑し、充実のフェアとなった。

フェアの半ばには香川県の池田豊人知事が訪れ、各ブースを視察するとともにあいさつを行い、来場者に香川県産畜産物のさらなる普及を訴え、オリーブ3畜の試食を行った。

大阪市場の全日本牛枝肉コンクール 和牛の名誉賞は岩国ファームの出品牛が受賞、殖生ミートパッカーが購買

第65回農林水産祭参加表彰行事、第21回全日本牛枝肉コンクールが9日と10日の2日間にわたり、大阪市中央卸売市場南港市場で開催された。全国各地から集荷されたえりすぐりの黒毛和種132頭、交雑種103頭の計235頭が出場。このうち黒毛和種の名誉賞には山口県の(有)岩国ファームの出品牛が輝き、大手食肉卸の殖生ミートパッカー(株)がキロ当たり5千円の最高値で購入した。また、交雑種の最優秀賞には徳島県のノースバレー(株)の出品牛が選出され、2865円で丸富精肉店が落札した。

同共励会は大阪市場で開催される共励会の中でも最大級の枝肉品評会。今大会も栃木県、静岡県、長野県、福井県、愛知県、大阪府、和歌山県、兵庫県、岡山県、広島県、鳥取県、山口県、愛媛県、徳島県、佐賀県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県の19府県から上質な和牛・交雑牛の枝肉が出品された。開催に当たり大阪市場の安藤信之取締役副社長が参集した生産者・買参者に向けて謝辞を述べた後、「本日の共励会は、いずれの枝肉も全国各地の生産者が丹精込めて肥育した肉牛ばかり。何とぞ、活発な購買をお願いしたい」とあいさつし、枝肉競りが開始された。

和牛の部に出品された132頭の枝肉のうち、最高賞である名誉賞を受賞した岩国ファームの出品牛は29カ月齢の去勢牛で、枝肉重量615・8kg。格付はA5等級のBMSNo.12。ロースしん面積114cm²、バラの厚さ9・7cm、背脂肪の厚さ2cm、枝肉歩留まり71・9%の堂々たる体躯の枝肉で、競りでは最高値となる単価5千円で殖生ミートパッカーが購買した。岩国ファームは山口県岩国市で黒毛和牛の繁殖肥育一貫生産を行う企業で、3農場で黒毛和牛約650頭を飼養。牛に極力ストレスをかけない飼育方法の確立や、牧場からほど近い場所に位置し、古くから交流がある有名酒造メーカー(株)瀬祭の酒かすを飼料に添加して給餌するなどの創意工夫により、安定して高品質な枝肉を生産。これまでも大型共励会での受賞は数多く、今共励会での名誉賞は2016年以来9年ぶりの受賞となった。同社の村田頼泰社長(上写真)は「(仕上がりも良く)自信はあったが、全体のレベルも上がってきているので賞に入るかは運もあるし、うれしい。牛がよく

頑張ってくれた。今後もおいしい肉作りに励みたい」と喜びを語った。

交雑種の部で最優秀賞に輝いた枝肉は枝肉重量579・4kg、A5等級、BMSNo.12、ロースしん面積98cm²、バラの厚さ8・3cm、背脂肪の厚さ2・3cm、枝肉歩留まり76・3%と、黒毛和牛の入賞牛と比べても遜色のない、交雑種の域を超えるハイレベルな枝肉だった。

受賞したノースバレーは徳島県の肥育農家で和牛・交雑牛合わせて約180頭を飼養する生産農家。「出来は良いかなと思っていたが、期待以上の結果」と北谷隆策社長(下写真)。交雑牛で5等級のBMSNo.12という結果について「技術面は昔から飼育方法をほとんど変えていないが、5年ほど前から牛(種雄牛)の能力が急激に上がっているように思う」と話す。実際、今回受賞した出品牛の父牛「北美津久」は各地の交雑種共励会で際立つ好成績を記録しており、交雑牛の進化を感じさせるコンクールとなった。

その他の入賞牛の出品者は次の通り。

【和牛の部】最優秀賞 (株)桑原畜産(佐賀県、3191円、購買者=(株)辻西畜産)▷優秀賞1席 グリーンフィールド高塚卓巳(長野県、2910円、殖生ミートパッカー)▷同2席 (有)ファゼンダ・グランデ(大分県、3051円、丸富精肉店)▷優良賞1席 同(大分県、2943円、同)▷同2席 (株)野田牧場(熊本県、2817円、吉尾章一)▷同3席 (株)國富(岡山県、2926円、(株)伊勢屋)

【交雑種の部】優秀賞1席 村岡誠(鳥取県、2061円、(株)辻西畜産)▷優良賞1席 (有)平和牧場(愛知県、1901円、丸富精肉店)▷同2席 立田牧場(徳島県、1810円、殖生ミートパッカー)



名古屋食肉市場買参事業協同組合が 第2回みかわ牛の銘柄活性化懇親会を開催

名古屋食肉市場買参事業協同組合(杉本達哉理事長)は10日、名古屋市中区のティアドで行政、生産者、市場関係者、流通事業者らを招き、地元銘柄「みかわ牛」の活性化のため、第2回みかわ牛の銘柄活性化懇親会を開催した。

佐藤剛理事の開会宣言に続き、杉本理事長(下写真)は「本日は三つ大切なことをお伝えしたい。まず、みかわ牛は多くの方々が力を合わせ松阪牛や飛騨牛をしのぐ良いブランドにしたいという思いで活動されている。二つ目にはみかわ牛の品質について、どんどん向上しているが、知名度がまだ低い。これをもっと向上させなければならない。加えて最近、名古屋市場で全頭オレイン酸数値を測定しているが、55%以上のものも多く出ている。三つ目は世界にも広がりをもてさせること。本日出席されている下村畜産はドバイやサウジアラビアへの輸出も拡大し、その他6カ国への輸出も計画されている。われわれもタイへ輸出しているが、タイの日本大使館や有名ホテル・レストランでみかわ牛を指定で使っていただいている。世界が認めるみかわ牛に育ちつつあり、今後ますますお客さまの期待を超える品質に高めていきたい」とあいさつ。

来賓および招待者紹介に続き来賓代表として、みかわ牛銘柄推進協議会の名誉会長を務める愛知県の大村秀章知事、名古屋市の広沢一郎市長、みかわ牛銘柄推進協議会の中野修会長がそれぞれの立場から祝辞。その中で中野会長は「協議会立ち上げから、みかわ牛の知名度向上のため各種プロモーションを展開している。昨年からはオレイン酸数値を公表し購買者の皆さまや消費者に牛肉の新たな価値提案を開始している他、今年6月からは公式ウェブサイトのみかわ牛が買える、食べられる店舗を紹介するなど、生産者のSNSとリンクし情報発信の強化に努めてい



る。今後も関係者が一体となってみかわ牛を盛り上げていただきたい」と述べた。

続いて愛知県食肉事業協同組合連合会の加藤功会長による乾杯発声で懇親に入った。会食中には多頭出荷者への感謝状贈呈、みかわ牛の現在の生産取組状況および今後の展望、みかわ牛普及への取組実績および今後の取り組みについて説明が行われた他、みかわ牛応援メッセージとしてアンバサダーを務めるプロ野球解説者・評論家の山本昌氏がエールを送り、また名古屋バッグ協同組合の吉田義彦理事長から山本氏にみかわ牛の皮で作ったバッグが贈られた。

和やかな雰囲気の中、みかわ牛銘柄推進協議会の顧問を務める前名古屋市会議員の奥村文洋氏が中締めあいさつを行い、名古屋食肉市場買参事業協同組合の小出政巳監事による閉会宣言で散会した。



カナダと米国で鳥フル、家禽肉など輸入一時停止

農水省動物検疫所は10日、カナダのオンタリオ州および米国アーカンソー州ミシシッピ郡の家禽飼養施設において通報対象鳥インフルエンザ(米国は高

病原性鳥インフルエンザ)の発生が確認されたことから、同地域から輸出される生きた家禽、家禽肉等については、輸入を一時停止した。

カナダポークが大阪・梅田で消費者招きクッキングイベントを開催 インフルエンサー・料理研究家のちはるさんを講師に

カナダポークは11日、大阪市北区のクッキングスタジオ「料理王国FOOVER」で、SNSなどを通じて募集した一般消費者を招き、カナダポークを使用したクッキングイベントを開催した。同イベントは、食材2品だけ〜、調理時間5分だけ〜など、簡単・便利な料理メニューをまとめた著書「だけメシ」などの著書を発行している料理研究家・インフルエンサーのちはるさん(写真左)を講師に、クッキングデモンストレーションおよび調理・試食を行うもの。

イベントの冒頭、カナダポーク日本事務所の木村憲氏マーケティングディレクター(写真右)は、スライドショーを交えながら、カナダの魅力・カナダポークについて解説。その後、イベントを協賛するカナダ大使館アルバータ州政府の高尾メアリーベス上席商務官(写真中央)がカナダおよびアルバータ州の自然豊かな環境などについてスピーチを行った。

プレゼンテーションの後には、講師のちはるさんがカ



ナダポークを使った「豚こまとチーズの揚げない春巻き」を実演。その後、参加者が調理・試食を行った。

完成した春巻きはアルバータ州の特産品であるハチミツをソースにして食し、簡単でおいしいと参加者にも好評で「帰りに春巻きの皮を買って帰る」「下味をつけていないのに、カナダポークはジューシーでおいしい」といった喜びの声がかきかれ、盛況のうちに終了した。

中間期では過去最高の営業収益—平和堂の2026年2月期中間決算

平和堂は2日、2026年2月期第2四半期連結業績を発表した。これによると、累計営業収益は2235億3900万円(前年同期比3・2%増)、営業利益は68億3300万円(8・4%増)、経常利益は75億1200万円(6・3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は49億400万円(7・4%増)と増収増益だった。平和堂単体としても営業収益2049億2700万円(5・4%増)、営業利益52億1100万円(11・7%増)、経常利益65億円(7・9%増)、中間純利益46億7100万円(12・0%増)で増収増益。営業収益は連結・単体共に中間期として過去最高となった。

単体での売上高は財務会計=1887億5500万円(管理会計=1973億9400万円)で全店ベースの前年同期比5・3%増(5・1%増)、部門別では食品計が1631億6500万円(6・4%増)、このうち生鮮食品は749億6600万円(5・8%増)、一般食品は881億9800万円(6・9%増)といずれも増加。一方で衣料品は118億4100万円(4・7%減)、住居関連品は169億

5500万円(0・7%減)といずれも減少した。全体の売上高は前期がうるう年だった影響から、今期は約0・4ポイント押し下げた。食品では戦略的な価格設定により客数を確保。さらに、米相場の高騰などが全体を押し上げた。

既存店の売上高は3・1%増(食品=4・2%増)、客数は0・8%増(1・8%増)、客単価は2・3%増(2・4%増)、買上点数は1・6%減(2・2%減)、一品単価は4・0%増(4・7%増)となった。戦略的価格設定、品ぞろえ強化などにより、うるう年の押し下げ影響下でも客数が増加。従前からの値上げ基調に加え、昨年上期に比べ、米相場の高騰で1品単価は上昇した。

第5次中期経営計画では、2030年の定量目標として連結営業収益5千億円以上、営業利益率4・5%以上、ROE8%、女性管理職比率20%以上などを掲げ、子育て世代ニーズ対応による顧客支持の獲得、ドミナント戦略をベースとしたHOP経済圏の拡大、生産性改善も含むコスト構造改革を推し進めている。

関東冷蔵倉庫協議会が第15回秋季懇談会開催

関東冷蔵倉庫協議会は9日、第15回秋季懇談会を開催した。冒頭、武田信一郎会長(写真)は「東冷倉では入庫出庫とも前年をわずかに下回っている。これも物価上昇の要因が考えられる。これから人手不足も進行する中、商慣習を見直し、労働集約的な事業などが大切になってくると思う。国交省では、28年度までに1回の受け渡しを1時間以内に行うという将来ビジョンを示しており、それを実現するために東冷倉としてその道筋を具体的なビジョンとし、商慣習を確実に進めていきたい」と話した。

続いて、各都府県における一般情勢報告が行われた。東京都の品目別動向の報告では、畜産物の総入庫高は78万9千t(前年比6・2%減)、総出庫高は77万5千t(2・9%減)。平均月末残高は26万3千t(3・5%増)となった。8月末の品種別保管残高は、牛肉が前年比3・9%増、豚肉が12・5%増とポジションが高い一方、鶏肉は4・2%減少している。

荷主動向では、牛肉はチルド、フローズンともに高値により低調に推移している。米国が長期的な干ばつや飼料価格の高騰により、牧場主が牛の頭数を減らし

ている。飼育数は数年ぶりの低水準。豚肉のチルドは米国産が減少した一方、カナダ産は増加した。フローズンの国内在庫は多く、ブラジル産より安価なスペイン産の入荷が主力となるが、国内需要からみると各社買い控えているようだ。

鶏肉は、インバウンドなどの影響により外食需要が好調に推移。鶏肉の8月累計の輸入量は前年同期比13・3%減と前年を下回ったが、今後ブラジルでの鳥インフルエンザ発生の影響から韓国、東南アジア向けの行き場を失った貨物が日本向けに増加する見通しだ。今年のタイからの鶏肉調製品の増加は一時的なもので、5月に発生したタイとカンボジアの国境紛争の影響により、今後の輸入量は減少するとみられている。



兵庫県で全肉連しまね和牛販売会を開催

「しまね和牛」を産地が消費地で販売し、ブランド普及に努める令和7年度食肉流通経営体質強化促進事業(生産者等との連携推進事業)第3回島根県開催枝肉販売会がこのほど、神戸市西区の(株)本神戸肉森谷商店センターで開催された。主催が全国食肉事業協同組合連合会、島根県食肉事業協同組合連合会。協賛が島根県農業協同組合。

今回は雌8頭、去勢13頭の21頭が出品され、直ちに完売した。出品牛の内訳はA5等級15頭、A4等級5頭、A2等級1頭だった。

長く行われている同事業は、兵庫県内でのしまね和牛の知名度向上に大きく貢献し、県内食肉市場でもしまね和牛は高値で取引されている。今回、島根県肉



連の町谷修二会長も販売会に駆けつけ、参加者らに日頃の購買への謝辞とともに、「島根県の生産事業者らが丹精込めて育てた牛肉を今後ともよろしくお願ひ申し上げる」とあいさつを述べた。

全肉連・近畿ブロック協議会が滋賀県で開催 活動報告の他、和牛セミナーも聴講

令和7年度全肉連・近畿ブロック食肉協議会が8日、滋賀県草津市のホテルポストプラザ草津で開催された。各府県の関係者および全国食肉事業協同組合連合会の村上幸春会長、全国食肉生活衛生同業組合連合会の池田清昭会長らが参集し、各組合の取り組み・近況について活動報告した他、意見交換会および懇親会を開き、親交を深めた。

また、議事後にはセミナーが開催され、神戸大学大学院農学研究科の上田修司助教が「和牛の未来：一価不飽和脂肪酸(MUFA)とお肉の美味しさの関係」、全国食肉生活衛生同業組合連合会の松浦輝雄事務局長が「全肉生連セミナー」と題した講演をそれぞれ行った。

冒頭、滋賀県食肉事業協同組合の岡山光雄理事長が出席者への謝辞を述べた後、「滋賀県での開催はコロナ禍もあり、8年ぶりとなる。食肉業界を取り巻く環境は大変厳しく、物価高騰による家計の圧迫で、牛肉消費の減少が続いている状況だ。これまで以上に消費者のニーズを意識した新商品の開発や家族構成に合わせた販売方法など、より一層の企業努力が求められている。滋賀県では9月28日から10月8日まで国民スポーツ大会、24日から28日までは障害スポーツ大会もそれぞれ開催。多くの方がたが滋賀県を訪れている。そのため、組合も県主導による近江牛の鉄板焼きの振る舞いに協力し、近江牛の普及に寄与することができた。また、大阪では13日まで関西万



博が開催されており、盛り上がりを見せている。食肉業界においては、村上会長、全肉生連の池田会長が共に大阪で、2団体の会長が同一都道府県から選任されたことは初めてだと喜ぶ。来月には全国会長会議があり、来年には全肉生連の全国大会が京都で開催されるなど、流れは関西に来ているのではないかと見られる。関西が食肉業界を引っ張っていくためにも、皆さまにはさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます」と開催代表のあいさつを行った。その後の議事では令和6年度取支決算、7年度取支予算案について審議が行われ、全て原案通り承認。また、各府県肉連の活動報告および意見交換の場では活発な議論が交わされた。

その後、会場を移し、懇親会を開催。近江牛サーロインを使用したローストビーフなど趣向を凝らした華やかな料理が振る舞われ、歓談に移った。(同日開催の和牛セミナーについては後日掲載予定)

すき家「チーズインハンバーグカレー」新発売

㈱すき家(東京都港区、笹川直樹社長)が展開する牛丼チェーン店「すき家」は、7日から「チーズインハンバーグカレー」(税込み、並盛890円)を販売する。

同商品は、中にモッツアレラチーズとレッドチェダーチーズを使ったソースを入れたハンバーグを、同店自慢のカレーに乗せた食べ応えのある商品。牛豚の合いびき肉を使ったハンバーグは厚みがあり、ジューシーな食感で、割ると中からチーズソースがとろけ出る。さらに、にんにくがほんのり香るホワイトソースをハ

ンバーグにかけることで、ソースの奥深い味わいがカレーやハンバーグのうまみを引き立てる一品に仕上げた。

また、カレーに温玉のまろやかな味わいをプラスした「おんたまチーズインハンバーグカレー」(並盛990円)や、チーズインハンバーグに加えミックスチーズをトッピングした、濃厚なコクを味わえる「チーズ×チーズインハンバーグカレー」(並盛1030円)も同時販売する。

[資料] 2025年8月分の食肉輸入通関実績⑪

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
BULGAR	232 KG		9103	91965	31479	284198
UKRAINE	238 KG		6063	120466	35862	357013
CANADA	302 KG		12840	103282	64200	507961
TOTAL	990 KG		247518	2099958	989844	7816620
(E. U)	991 KG		43605	487750	251388	3031081
0505. 90-000 羽毛皮その他の羽毛付きの鳥の部分、羽毛及びその部分並びに羽毛又はその部分の粉及びくず(加工してないもの及び単に清浄にし、消毒し又は保存のために処理したもの)						
CHINA	105 KG		132	1648	332	4876
MONGOL	107 KG		-	-	25	395
USA	304 KG		-	-	72	8012
S AFRCA	551 KG		101	2424	1139	27038
TOTAL	990 KG		233	4072	1568	40321
0506. 10-000 オセイン及び酸処理した骨						
THAILND	111 KG		100000	47937	840000	404230
INDIA	123 KG		284000	146129	1798000	939293
PAKISTN	124 KG		232000	107644	1618000	759013
CANADA	302 KG		120000	67157	695200	395267
BRAZIL	410 KG		-	-	24800	11442
TOTAL	990 KG		736000	368867	4976000	2509245
0506. 90-010 骨粉						
CHINA	105 KG		-	-	50	210
THAILND	111 KG		250	34207	3770	106363
USA	304 KG		-	-	550098	51389
TOTAL	990 KG		250	34207	553918	157962
0506. 90-090 骨及びホーンコア(加工してないもの及び脱脂し、単に整え、酸処理し又は脱膠したもので、特定の形状に切ったものを除く。)並びにこれらのくず(オセイン及び酸処理した骨を除く。)						
CHINA	105 KG		380	901	102404	156530
TAIWAN	106 KG		56120	23266	233864	96681
MONGOL	107 KG		-	-	225	247
VIETNAM	110 KG		9328	13218	47842	62007
THAILND	111 KG		18000	2091	105688	53753
INDNSIA	118 KG		7795	5468	566174	88661
MYANMAR	122 KG		-	-	910130	78450
INDIA	123 KG		-	-	72364	5632
PAKISTN	124 KG		-	-	98890	6762
BANGLA	127 KG		-	-	42110	3056
DENMARK	204 KG		-	-	120690	12078
NETHLDs	207 KG		-	-	23600	2486
BELGIUM	208 KG		-	-	6090	701
FRANCE	210 KG		23990	2638	23990	2638
SPAIN	218 KG		599351	66279	2268919	249154
ITALY	220 KG		26840	6885	44840	11848
FINLAND	222 KG		47100	4308	401440	35978
AUSTRIA	225 KG		43340	4434	286920	27684
CANADA	302 KG		288457	39725	2318932	314483
USA	304 KG		1192051	89380	8339875	704704
MEXICO	305 KG		54165	6681	602047	67087
PERU	407 KG		-	-	16293	9109
CHILE	409 KG		-	-	50002	9084
BRAZIL	410 KG		487877	78564	2921189	470231
AUSTRAL	601 KG		-	-	1434	817
NEWZELD	606 KG		959	227	176094	57617
TOTAL	990 KG		2855753	344065	19782046	2527478
(E. U)	991 KG		740621	84544	3176489	342567
1601. 00-900 ソーセージその他これに類する物品(肉、くず肉又は血から製造したもの)及びこれらの物品をもととした調製食料品						
R KOREA	103 KG		-	-	800	444
CHINA	105 KG		469649	325504	3966665	2749391
TAIWAN	106 KG		10492	17760	44776	67601
THAILND	111 KG		468190	364482	3741501	2919045
PHILPIN	117 KG		-	-	27198	20593
DENMARK	204 KG		38771	37657	508417	434508
U KING	205 KG		-	-	396	777
FRANCE	210 KG		9139	22404	110890	249981

(単位：1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
GERMANY	213 KG		-	-	7491	9285
PORTUGL	217 KG		1152	1352	1728	1824
SPAIN	218 KG		48826	90477	238471	503386
ITALY	220 KG		21696	26138	119171	141118
FINLAND	222 KG		45891	42356	297706	269810
RUSSIA	224 KG		-	-	457	308
AUSTRIA	225 KG		4271	12163	46810	77590
TURKEY	234 KG		-	-	46249	9598
SLOVENI	242 KG		1296	2235	1296	2235
CANADA	302 KG		31438	37095	120031	135754
USA	304 KG		593637	540276	4218120	3815120
BRAZIL	410 KG		228139	124325	4557528	2558762
AUSTRAL	601 KG		-	-	7680	15408
TOTAL	990 KG		1972587	1644224	18063381	13982538
(E. U)	991 KG		171042	234782	1331980	1689737
1602. 10-100 均質調製品(昆虫類から成るもの)						
R KOREA	103 KG		-	-	312	266
MYANMAR	122 KG		-	-	121	630
TOTAL	990 KG		-	-	433	896
1602. 20-010 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(牛又は豚の肝臓のもの)(均質調製品を除く。)						
PHILPIN	117 KG		-	-	4488	5086
FRANCE	210 KG		-	-	2525	4095
SPAIN	218 KG		-	-	20282	23275
TOTAL	990 KG		-	-	27295	32456
(E. U)	991 KG		-	-	22807	27370
1602. 20-091 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(動物(牛及び豚を除く。))の肝臓のもの(気密容器入りのもの)(均質調製品を除く。)						
FRANCE	210 KG		739	5838	2383	17490
BULGAR	232 KG		-	-	525	3267
TOTAL	990 KG		739	5838	2908	20757
(E. U)	991 KG		739	5838	2908	20757
1602. 20-099 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(動物(牛及び豚を除く。))の肝臓のもの(均質調製品を除く。)(その他のもの)						
CHINA	105 KG		87268	59292	933724	665720
MONGOL	107 KG		300	360	500	600
THAILND	111 KG		1806	2991	48541	73595
SPAIN	218 KG		-	-	150	1503
BULGAR	232 KG		-	-	180	1174
TOTAL	990 KG		89374	62643	983095	742592
(E. U)	991 KG		-	-	330	2677
1602. 31-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(七面鳥のもの)(均質調製品を除く。)(その他のもの)						
GERMANY	213 KG		-	-	4077	3834
SPAIN	218 KG		-	-	24276	17892
TURKEY	234 KG		-	-	216	222
LITHUAN	237 KG		90204	77020	520457	427882
USA	304 KG		3	254	101	863
TOTAL	990 KG		90207	77274	549127	450693
(E. U)	991 KG		90204	77020	548810	449608
1602. 32-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(鶏(ガルルス・ドメスティクス)のもの(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))						
USA	304 KG		-	-	269	912
TOTAL	990 KG		-	-	269	912
1602. 32-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(鶏(ガルルス・ドメスティクス)のもの(牛若しくは豚の肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの)(均質調製品を除く。)						
R KOREA	103 KG		-	-	26112	13075

(続く)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 10月14日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	4,167	2,917	3,472	-	-
		安値	2,104	2,057	2,047	-	-
		平均	3,026	2,217	2,315	1,913	-
		頭数	98	24	6	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	1,879	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
	去 A	高値	2,668	2,481	2,173	-	-
		安値	2,132	2,064	2,057	-	-
		平均	2,362	2,210	2,135	1,971	-
		頭数	33	28	5	1	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,671	1,575	1,439	-
		頭数	-	7	12	3	-
	雌 C	平均	-	-	1,514	-	-
		頭数	-	-	1	-	-
	去 B	平均	-	1,762	1,606	1,498	-
		頭数	-	2	7	2	-
去 C	平均	-	-	1,529	-	-	
頭数	-	-	1	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	420 290	1,084 943	- 158.5	(競り)	(相対)	
				-	23	41

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,275	1,862	1,674	1,477	-
	B	-	1,524	1,568	1,383	1,156
和 去	A	-	2,018	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,083	-
	C	-	-	-	1,071	957
乳 去	B	-	1,298	-	1,175	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,860	1,628	1,550	1,456	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	1,757	1,550	1,515	-
	C	-	-	1,439	1,421	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	619	637	842	896	864
	安値	593	529	496	443	162
	平均	608	554	535	520	525
	頭数	(4)	(367)	(304)	(112)	(156)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
搬入 相対	高値	-	-	580	569	545
	安値	-	-	569	558	515
	平均	-	-	573	560	542
	頭数	(-)	(-)	(3)	(6)	(14)

[大阪食肉卸売市場] 10月14日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,372 (5)	2,099 (3)	1,904 (2)	- (-)	- (-)
B	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
和 去 A	2,391 (17)	2,032 (3)	1,955 (1)	- (-)	- (-)
B	- (-)	1,972 (2)	- (-)	- (-)	- (-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	1,515	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,698	1,599	-	-
C	-	-	1,617	1,469	-
豚	-	865	609	569	485

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	10月14日	10月10日	(10月累計)
豚	72,300	65,000	582,400
成牛計	4,870	4,000	39,100
和牛雌	1,300	930	9,910
和牛去勢	1,290	910	10,290
乳牛雌	830	650	6,570
乳牛去勢	530	260	3,540
交雑雌	420	520	3,930
交雑去	500	710	4,730

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 10月14日

東京	1,535円	(前日 1,535円)
大阪	1,561円	(前日 -円)

[豚・全農建値] 10月14日

上	中	取引頭数	市況
564円	542円	1,237頭	強もちあい

と畜 売買	牛 72頭 牛 64頭	豚 162頭 豚 114頭	牛概況 豚概況	弱含み 急伸
----------	----------------	------------------	------------	-----------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 10月14日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	605 (605)	- (-)	-	-	もちあい
仙台 [中]	551 (566)	498 (500)	656	33	続落
栃木 [地]	- (529)	- (510)	-	-	休市
茨城 [地]	- (543)	- (522)	1,536	-	上場なし
群馬 [地]	547 (566)	459 (467)	2,744	359	反落
さいたま [中]	560 (568)	542 (561)	343	356	続落
東京 [中]	554 (554)	535 (542)	1,084	943	もちあい
横浜 [中]	578 (569)	550 (545)	688	592	続伸
山梨 [地]	699 (-)	667 (-)	137	93	上伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	604 (615)	580 (577)	997	277	下押し
京都 [中]	636 (619)	635 (625)	91	77	もちあい
大阪 [中]	865 (572)	609 (541)	162	106	急伸
神戸 [中]	- (578)	- (569)	133	-	上場なし
岡山 [地]	600 (700)	576 (772)	380	387	暴落
広島 [中]	578 (596)	553 (572)	382	60	続落
福岡 [中]	608 (586)	582 (568)	589	204	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。京都の前日は11日。栃木は13日。

[日本食肉流通センター] 10月7日～10月13日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 10月10日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,360,770 kg

◇東京 (8社)

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,281	1,350	1,269	62,074
うで	745	811	853	813	109,311
ロース	1,134	1,188	1,269	1,194	135,665
ばら	1,233	1,295	1,324	1,279	136,297
もも	753	810	853	804	131,711
ヒレ	996	1,210	1,284	1,180	9,621
セット	940	1,053	1,110	1,042	776,091

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	666	742	943	198
ムネ	509	558	711	176

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	654	749	1,030	5
ムネ	511	548	646	3

◇近畿圏 総重量 652,553 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,220	1,328	1,413	1,333	51,093
うで	690	743	810	756	106,232
ロース	1,080	1,199	1,285	1,201	90,360
ばら	1,269	1,323	1,393	1,333	122,415
もも	734	767	845	778	147,467
ヒレ	1,242	1,268	1,434	1,304	10,314
セット	903	978	1,162	1,005	124,672

[農水省統計情報部食鳥市況] 10月10日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,016	789	550	600	650
安値	550	541	290	360	350
平均	747	576	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

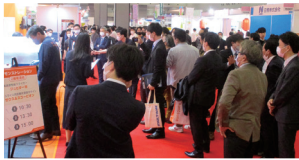
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願い致します。

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995